

キミおばさんへ

ラジオネーム：どんぐり

キミおばさんが92歳の生涯を安らかに終えられたと電話が来たとき、あの元気なおばさんがと驚き、静かな波のような悲しみがじわじわと訪れています。

私の親戚には、キミおばさんとミキおばさんがいて、子供の頃はこんがらがっていたのだけれど、ある時、私の母が踊りの発表会に連れて行ってくれて、そこで踊っていたのがキミおばさんと知り、はっきりと覚えることが出来たんですよ。おばさんは上背があって、目鼻立ちがハッキリとしていて、もしかすると若い頃は背丈の事で苦労されたこともあったのかなと思うのですが、舞台に立つおばさんはきりりとした表情にシャキッと伸びた背筋が格好良く、抜群の見栄えで、子供心にすごいなあと思っていたんですよ。

そのキミおばさんが、20年くらい前に股関節の調子が悪くなり、いっばい、いっばい悩んだ結果、人工股関節に置き換える手術を受けることになりましたね。日常生活は戻るのだろうか、生きがいになっている踊りを諦めなければならぬのか、皆心配していました。

家から遠く離れた病院でリハビリを始めたころ、とても大変で、つらい、苦しいと家族や兄弟に電話をかけてくるおばさんに、おばさんの家族と、兄弟姉妹である母たちが、「おばさんの声を根気よく聞き続けて、気持ちをしっかり受け止め、励まし続けよう」って話し合う姿を見て、なんてしっかりとたお母さん思いの従妹たち、伯父叔母達はなんて結束の強い兄弟姉妹なんだろうと強い衝撃を受けました。

その後、根気良いリハビリが功を奏し、おばさんが見事、踊りの舞台に帰ってきたときは本当に嬉しかった。生きるって、大変だけど楽しい、素晴らしいって、おばさんの踊りが教えてくれました。

今度は、ご先祖さまや先に逝ったお仲間の皆さんに、楽しい踊りを披露できますね。どうか、心安らかに、でも、おばさんらしくにぎやかな日々でありますように願っています。

〈 黒田武士 / 村田英雄 〉